

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	LeyLine
住 所	伊勢原市伊勢原1-14-18
電話番号	0463-75-8916

事業所番号	1414000743
管理者名	石原 真子
対象年度	令和5年度

(I) 労働時間		40 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		60 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(III) 多様な働き方（※）		15 点
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
小計（注1）		5
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

(IV) 支援力向上（※）		15 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している	○	
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		5
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合：10点		

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	
期限内に提出していない場合：-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点	
生産活動	20点	10点	20点	40点	50点	60点			
多様な働き方	0点	5点	15点						
支援力向上	0点	5点	15点						
地域連携活動	0点	10点							
経営改善計画	0点	-50点							
利用者の知識・能力向上	0点	10点							



合計	150	点	/ 200点
----	-----	---	--------

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I～IV、VI）

(I) 労働時間

前年度 (5)

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	16,586	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,145	人	利用者の 1 日の平均労働時間数	4	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	------------------	---	----

(II) 生産活動

会計期間 (4月～ 3月)

前々々年度 (3)

生産活動収入から経費を除いた額	17,495,680	円	利用者に支払った賃金総額	16,456,289	円	収支	1,039,391	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度の赤字部分は概算のため、収支も概算となります。
ただし、利用者賃金を生産活動収入から経費を除いた額を上回することは間違いありません。

前々年度 (4)

生産活動収入から経費を除いた額	19,928,443	円	利用者に支払った賃金総額	18,774,493	円	収支	1,153,950	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度 (5)

生産活動収入から経費を除いた額	18,500,000	円	利用者に支払った賃金総額	17,964,389	円	収支	535,611	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

(III) 多様な働き方

前年度 (年度) における取組 (全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載)

①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度 ◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	②利用者を職員として登用する制度 ◎利用者を職員として登用する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>
④フレックスタイム制に係る労働条件 ◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/>	⑤短時間勤務に係る労働条件 ◎短時間勤務に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	⑥時差出勤制度に係る労働条件 ◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/>
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 ◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている <input type="checkbox"/>	⑧傷病休暇等の取得に関する事項 ◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている <input type="checkbox"/>	

(IV) 支援力向上

前年度 (年度) における取組 (全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載)

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 ◎研修計画を策定している <input checked="" type="checkbox"/> ◎外部研修、もしくは内部研修を 1 回以上実施している <input checked="" type="checkbox"/> ※研修名 (個々のキャリアラダーに合ったものを選定) 研修講師 別途研修報告書にて管理 実施日・受講者数 別途研修報告書にて管理	②研修、学会等又は学会誌等において発表 ◎研修、学会等又は学会誌等において 1 回以上発表している <input type="checkbox"/> ※研修、学会等名 実施日 月 日 ※学会誌等名 掲載日 月 日 発表テーマ	③視察・実習の実施又は受け入れ ◎先進的事業者の視察・実習の実施している もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている <input checked="" type="checkbox"/> ※先進的事業者名 しんわルネッサンス 実施日/参加者数 12月 8日 1人 ※他の事業所名 実施日/参加者数 月 日 人
④販路拡大の商談会等への参加 ◎販路拡大の商談会や展示会等へ 1 回以上参加している <input checked="" type="checkbox"/> ※商談会等名 SDGs「働く福祉」EXPO 主催者名 SDGs「働く福祉」EXPO事務局 日時 12月 1日 内容 オンライン出展	⑤職員の人事評価制度 ◎職員の人事評価制度を整備している <input checked="" type="checkbox"/> ◎当該人事評価制度を周知している <input checked="" type="checkbox"/> 人事評価制度の制定日 年 月 日 人事評価制度の対象職員数 名 うち昇給・昇格を行った者 名 当該人事評価制度の周知方法	⑥ピアサポーターの配置 ◎ピアサポーターを配置している <input checked="" type="checkbox"/> ◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポート研修」を受講している <input checked="" type="checkbox"/> ※配置期間 3月1日～ 月 日 就業時間 9:30～15:30 or 10:00～15:00 職務内容 職業指導員としての利用者支援
⑦第三者評価 ◎前年度末日から過去 3 年以内に福祉サービス第三者評価を受けている <input type="checkbox"/> ※評価を受けた日 月 日 第三者評価機関	⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 ◎ISO が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている <input type="checkbox"/> ※認証を受けた日 月 日 規格等の内容	

(VI) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県 (指定都市・中核市) へ、経営改善計画書へ提出した。 <input type="checkbox"/>
※受理日 年 月 日

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	LeyLine	事業所番号	1414000743
住 所	伊勢原市伊勢原1-4-18 岩崎ビル4F	管理者名	石原 真子
電話番号	0463-75-8916	対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>平塚市内の企業に赴いての施設外就労を行っています。 スキンケア用品や洗剤へのシール貼り、梱包などの業務を行っており、 メンバー：支援員＝最大7：1のチームで働いています。</p>	<p><活動の様子></p> <p>メンバーの仕事ぶりに対し、 「スピード、クオリティ共に申し分ない」とのコメントを頂いております。 また、今後障害者雇用を進めるにあたり「障害のある方への接し方についてアドバイスが欲しい」とのお声を頂いております。</p> <p>※受け入れ企業様のご意向で写真掲載はしておりません (企業様の取引先および商品の公開を避けるため)</p>
<p><目的></p> <p>企業に赴いての作業を通し、所内作業よりもより実践的な経験を積むことが可能となります。</p>	
<p><成果></p> <p>一般就労を目指している方から、 「企業の中で働く経験を積むことができたことで、 目標に一步近づけたように感じる」とのコメントを頂いております。</p>	


連携先の企業等の意見または評価

<p>過去に頂いたコメント</p> <ul style="list-style-type: none">・メンバーの皆さんの仕事に対する姿勢は、私たちが見習うべきところがたくさんある・挨拶が気持ちがよく、社内に活気が出た・社内の催しにも楽しそうに参加してくれ、こちらが嬉しくなる。企画してよかったと感じる。			
連携先企業名	※企業様のご意向で非公開とさせていただきます	担当者名	

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	LeLine	事業所番号	1414000743
住所	伊勢原市伊勢原1-14-18 岩崎ビル4F	管理者名	石原 真子
電話番号	0463-75-8916	対象年度	令和5年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>利用者さんより、作業の中で重たいものを持ちあげたり、座り姿勢が長引くことで、体の痛みが出てしまうとのこと相談が寄せられました。</p> <p>そこで、昨年夏に理学療法士の先生をお招きし、体の使い方講座を開催いたしました。事前に所内作業の様子をご見学いただき LeyLineでの作業に合ったオーダーメイドの講座となりました。</p>	<p><活動の様子></p> 
<p><目的></p> <p>正しい体の使い方を意識することで、痛みなどを予防</p>	
<p><成果></p> <p>参加者から「楽しかった」「明日から実践したい」などのお声をいただきました。</p> <p>また、講座後の個別相談では、仕事だけでなく日ごろの生活の中で気になる体の痛みなどについての質疑応答をしていただき、満足度の高い講座だったとの評価を頂きました。</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

就労において、体の痛みは大きな弊害となり得ます。

日ごろからケガや疲労蓄積を防止する体の使い方をすることで、より快適に・長い期間就労可能となるのではないのでしょうか。

連携先企業（担当者） PT 高信

利用者からの意見・評価

参加者から「楽しかった」「明日から実践したい」などのお声をいただきました。

また、講座後の個別相談では、仕事だけでなく日ごろの生活の中で気になる体の痛みなどについての質疑応答をしていただき、満足度の高い講座だったとの評価を頂きました。